令和５年度 学生生活の満足度調査結果（コミュニティ生活学科）

１　調査回答者

２年次　８１名　（調査対象：９４名　回答率：８６．２％）

２　調査結果

１）満足度調査

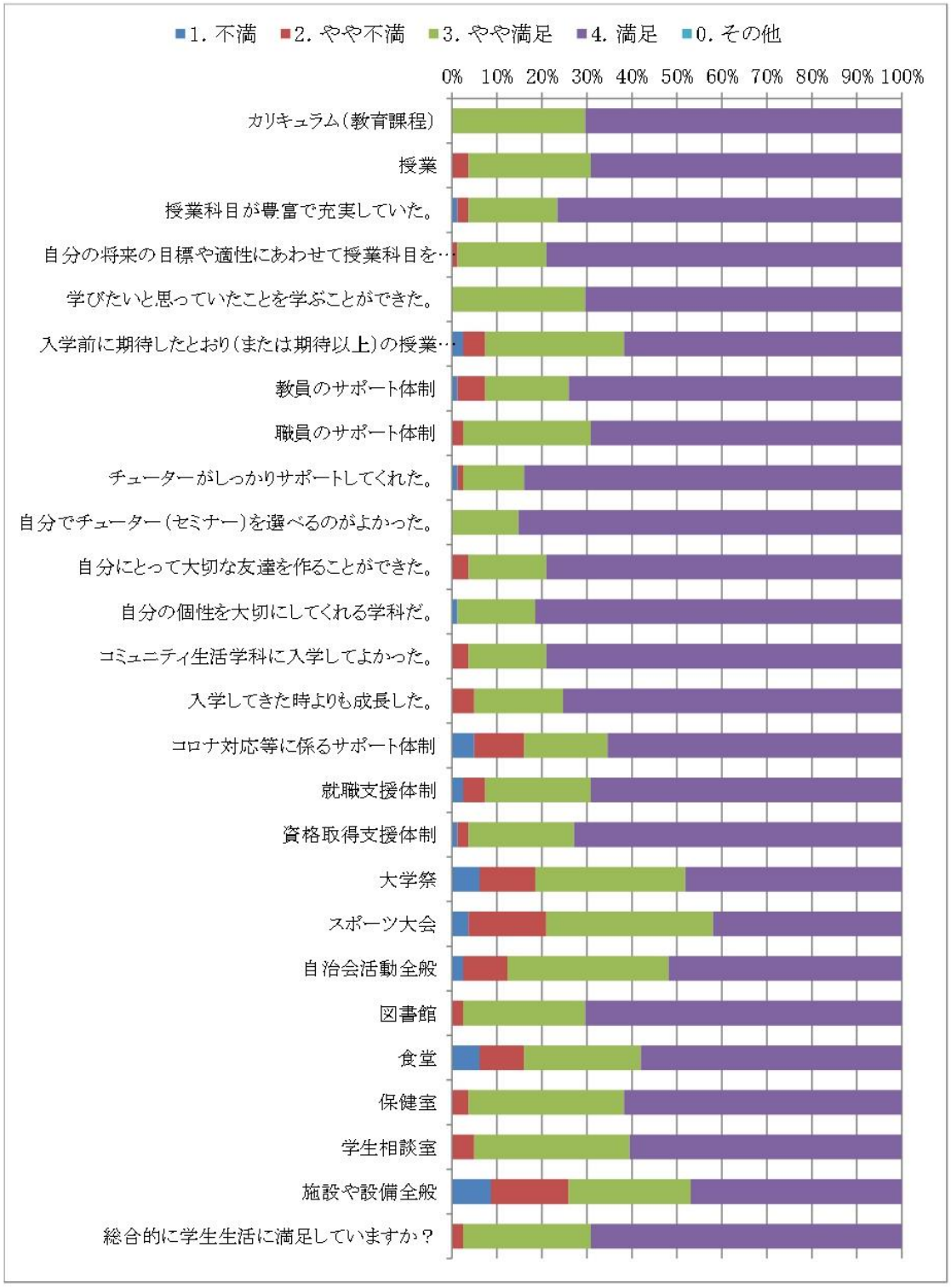
領域	項目	1. 不満	2. やや不満	3. やや満足	4. 満足	0. その他	計	満足度
教務	カリキュラム(教育課程)	0 人 0%	0 人 0%	24 人 30%	57 人 70%	0 人 0%	81 人	100%
	授業	0 人 0%	3 人 4%	22 人 27%	56 人 69%	0 人 0%	81 人	96%
	授業科目が豊富で充実していた。	1 人 1%	2 人 2%	16 人 20%	62 人 77%	0 人 0%	81 人	96%
	自分の将来の目標や適性にあわせて授業科目を自由に選べるのかよかった。	0 人 0%	1 人 1%	16 人 20%	64 人 79%	0 人 0%	81 人	99%
	学びたいと思っていたことを学ぶことができた。	0 人 0%	0 人 0%	24 人 30%	57 人 70%	0 人 0%	81 人	100%
	入学前に期待したとおり(または期待以上)の授業や指導を受けられた。	2 人 2%	4 人 5%	25 人 31%	50 人 62%	0 人 0%	81 人	93%
学生生活	教員のサポート体制	1 人 1%	5 人 6%	15 人 19%	60 人 74%	0 人 0%	81 人	93%
	職員のサポート体制	0 人 0%	2 人 2%	23 人 28%	56 人 69%	0 人 0%	81 人	98%
	チューターがしっかりサポートしてくれ	1 人 1%	1 人 1%	11 人 14%	68 人 84%	0 人 0%	81 人	98%
	自分でチューター(セミナー)を選べるのがよかった。	0 人 0%	0 人 0%	12 人 15%	69 人 85%	0 人 0%	81 人	100%
	自分にとって大切な友達を作ることができた。	0 人 0%	3 人 4%	14 人 17%	64 人 79%	0 人 0%	81 人	96%
	自分の個性を大切にしてくれる学科だ。	1 人 1%	0 人 0%	14 人 17%	66 人 81%	0 人 0%	81 人	99%
	コミュニティ生活学科に入学してよかった。	0 人 0%	3 人 4%	14 人 17%	64 人 79%	0 人 0%	81 人	96%
	入学してきた時よりも成長した。	0 人 0%	4 人 5%	16 人 20%	61 人 75%	0 人 0%	81 人	95%
	コロナ対応等に係るサポート体制	4 人 5%	9 人 11%	15 人 19%	53 人 65%	0 人 0%	81 人	84%
ｷｬﾘｱｱｯﾌﾟ	就職支援体制	2 人 2%	4 人 5%	19 人 23%	56 人 69%	0 人 0%	81 人	93%
	資格取得支援体制	1 人 1%	2 人 2%	19 人 23%	59 人 73%	0 人 0%	81 人	96%
自治会活動	大学祭	5 人 6%	10 人 12%	27 人 33%	39 人 48%	0 人 0%	81 人	81%
	スポーツ大会	3 人 4%	14 人 17%	30 人 37%	34 人 42%	0 人 0%	81 人	79%
	自治会活動全般	2 人 2%	8 人 10%	29 人 36%	42 人 52%	0 人 0%	81 人	88%
施設	図書館	0 人 0%	2 人 2%	22 人 27%	57 人 70%	0 人 0%	81 人	98%
	食堂	5 人 6%	8 人 10%	21 人 26%	47 人 58%	0 人 0%	81 人	84%
	保健室	0 人 0%	3 人 4%	28 人 35%	50 人 62%	0 人 0%	81 人	96%
	学生相談室	0 人 0%	4 人 5%	28 人 35%	49 人 60%	0 人 0%	81 人	95%
	施設や設備全般	7 人 9%	14 人 17%	22 人 27%	38 人 47%	0 人 0%	81 人	74%
総合	総合的に学生生活に満足していますか？	0 人 0%	2 人 2%	23 人 28%	56 人 69%	0 人 0%	81 人	98%

２）自己点検

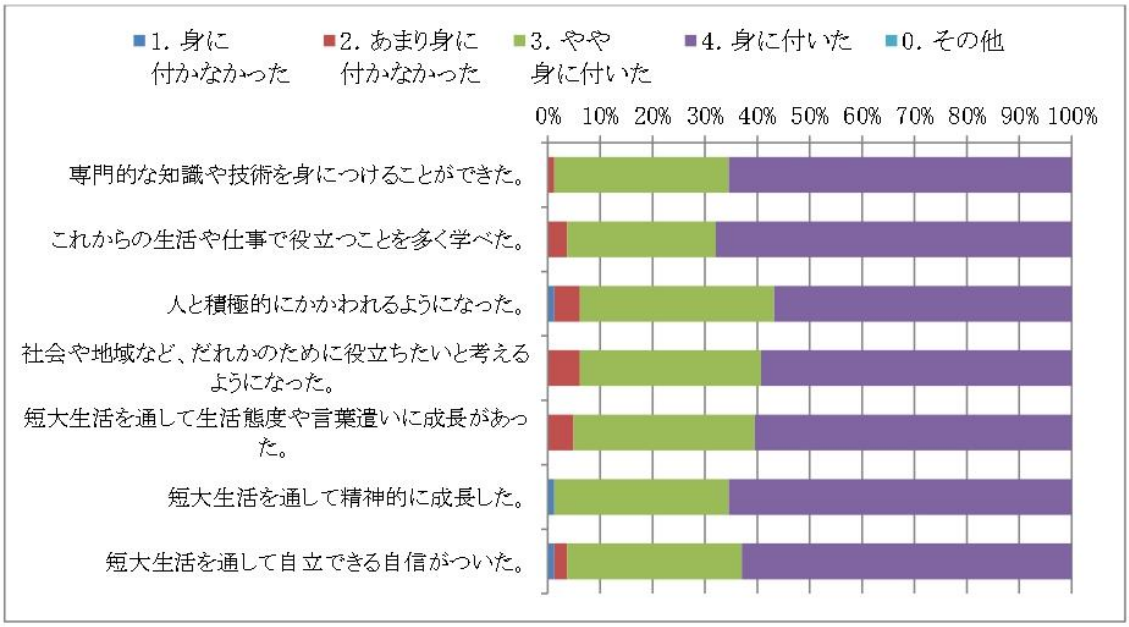
項目	1. 身に付かなかった	2. あまり身に付かなかった	3. やや身に付いた	4. 身に付いた	0. その他	計	満足度
専門的な知識や技術を身につけることができた	0 人 0%	1 人 1%	27 人 33%	53 人 65%	0 人 0%	81 人	99%
これからの生活や仕事で役立つことを多く学べた	0 人 0%	3 人 4%	23 人 28%	55 人 68%	0 人 0%	81 人	96%
人と積極的にかかわれるようになった	1 人 1%	4 人 5%	30 人 37%	46 人 57%	0 人 0%	81 人	94%
社会や地域など、だれかのために役立ちたいと考えるようになった	0 人 0%	5 人 6%	28 人 35%	48 人 59%	0 人 0%	81 人	94%
短大生活を通して生活態度や言葉遣いに成長がった	0 人 0%	4 人 5%	28 人 35%	49 人 60%	0 人 0%	81 人	95%
短大生活を通して精神的に成長した	1 人 1%	0 人 0%	27 33%	53 人 65%	0 人 0%	81 人	99%
短大生活を通して自立できる自信がついた	1 人 1%	2 人 2%	27 人 33%	51 人 63%	0 人 0%	81 人	96%

3　グラフ

1）満足度調査


1. 不満
2. やや不満
3. やや満足
4. 満足
0. その他
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
カリキュラム（教育課程）
授業
授業科目が豊富で充実していた。
自分の将来の目標や適性にあわせて授業科目を…
学びたいと思っていたことを学ぶことができた。
入学前に期待したとおり（または期待以上）の授業…
教員のサポート体制
職員のサポート体制
チューターがしっかりサポートしてくれた。
自分でチューター（セミナー）を選べるのがよかった。
自分にとって大切な友達を作ることができた。
自分の個性を大切にしてくれる学科だ。
コミュニティ生活学科に入学してよかった。
入学してきた時よりも成長した。
コロナ対応等に係るサポート体制
就職支援体制
資格取得支援体制
大学祭
スポーツ大会
自治会活動全般
図書館
食堂
保健室
学生相談室
施設や設備全般
総合的に学生生活に満足していますか？

２）自己点検



４　まとめ

１）満足度調査

（１）状況と課題

①　満足度調査については，以下の３項目では満足度１００％だった。

「カリキュラム(教育課程)」,「学びたいと思っていたことを学ぶことができた」,「自分でチューター(セミナー)を選べるのが良かった」。また, 昨年度の１年次終了時期に比べて, １年間で教務領域についてはすべの項目，学生生活については「教員のサポート体制」以外すべての項目, 自治会活動や施設領域についてもすべての項目で満足度が上がっていた。「総合的に学生生活に満足していますか？」については，１年間で満足度が７．１ポイント上がった。

②　課題としては,「コロナ対応等に係るサポート体制」に「やや不満」または「不満」と答えた学生が１６％と高かったことがあげられる。また,「施設や設備全般」については，昨年度の３２％から２６％に減少したものの，すべての項目の中で「やや不満」または「不満」と答えた割合が高かった。

（２）要因分析

本学科はオープンキャンパスや入試説明会において，学科の特徴や学びの説明を聞いて入学してきた学生が大半を占めている。そうした学科の特性が学ぶ側の学生に理解され，期待される学びが実践できた２年間の評価だと考える。一方,「コロナ対応に係るサポート体制」には１６％が不満と回答していた。授業評価アンケートの自由記述にある意見と合わせて分析すると，欠席扱いとなることに要因があったと考えられる。

（３）本年度の対策

引き続き，学生とのコミュニケーションを丁寧にとることを心掛ける。夢カルテを生かした「学習面」「生活面」の身近な目標達成を半年に１回振り返っていくことを踏まえ達成感や満足感を味わう機会をつくる。日々の授業で学びの充実を実感できるよう授業を工夫してい

く。１年生の時期から，チューターによる個人面談の時間などで就職について話す機会を増やしていくことやキャリアセンターの利用方法を指導することなどで就職支援体制への不安を解決していきたいと思う。

２）自己点検のまとめ

① 自己点検については，「身に付いた」「やや身に付いた」を合わせるとすべての項目で９４％以上となっており，「専門的な知識や技術を身に付けることができた」，「短大生活を通して精神的に成長した」については９９％が「身に付いた」「やや身に付いた」と答えていた。

② １年次の調査と比較するとすべての項目で満足の割合が高くなった。特に，「短大生活を通して自立できる自信がついた」は「身に付いた」と回答している割合が１年前に比べて１５ポイント上がっていた。「専門的な知識や技術を身に付けることができた」，「これからの生活や仕事で役立つことを多く学べた」，「社会や地域など，誰かのために役立ちたいと考えるようになった」，「短大生活を通して精神的に成長した」についての４項目では，１年間で１０ポイント以上高くなっていた。２年次の１年間で，全体的に満足度が上がったのは，チューターのサポート体制が反映される学生生活の満足度の高さと２年間で何ができるようになったかを実感できる充実したカリキュラムによるものと考えられる。

令和５年度 学生生活の満足度調査結果（食物栄養学科）

１　調査回答者

２年次　４０名（調査対象：４１名　回答率：９７．６％）

２　調査結果

１）満足度調査

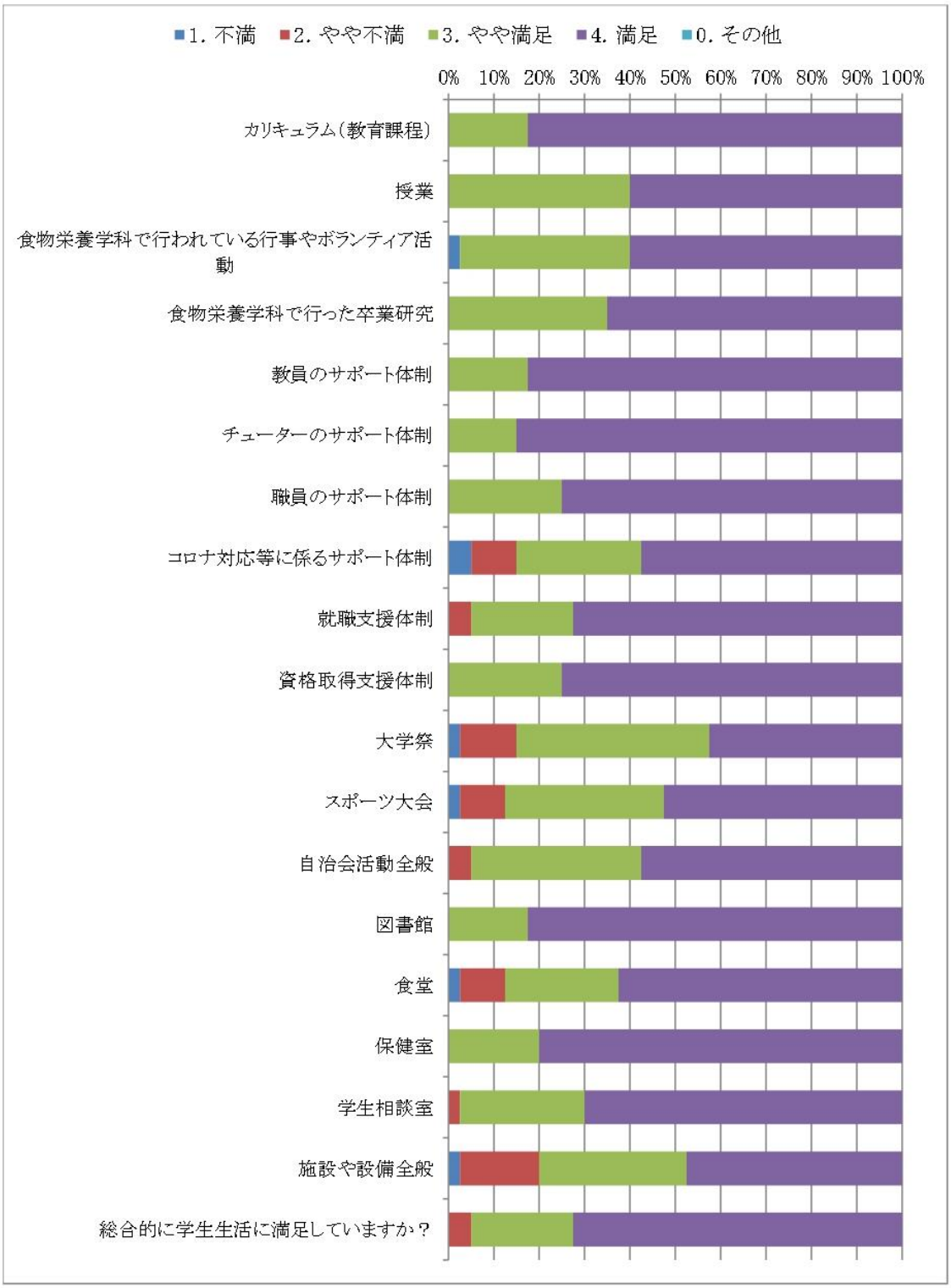
領域	項目	1. 不満	2. やや不満	3. やや満足	4. 満足	0. その他	計	満足度
教務	カリキュラム(教育課程)	0 人 0%	0 人 0%	7 人 18%	33 人 83%	0 人 0%	40 人	100%
	授業	0 人 0%	0 人 0%	16 人 40%	24 人 60%	0 人 0%	40 人	100%
	食物栄養学科で行われている行事やボランティア活動	1 人 3%	0 人 0%	15 人 38%	24 人 60%	0 人 0%	40 人	98%
	食物栄養学科で行った卒業研究	0 人 0%	0 人 0%	14 人 35%	26 人 65%	0 人 0%	40 人	100%
学生生活	教員のサポート体制	0 人 0%	0 人 0%	7 人 18%	33 人 83%	0 人 0%	40 人	100%
	チューターのサポート体制	0 人 0%	0 人 0%	6 人 15%	34 人 85%	0 人 0%	40 人	100%
	職員のサポート体制	0 人 0%	0 人 0%	10 人 25%	30 人 75%	0 人 0%	40 人	100%
	コロナ対応等に係るサポート体制	2 人 5%	4 人 10%	11 人 28%	23 人 58%	0 人 0%	40 人	85%
ｷｬﾘｱｱｯﾌﾟ	就職支援体制	0 人 0%	2 人 5%	9 人 23%	29 人 73%	0 人 0%	40 人	95%
	資格取得支援体制	0 人 0%	0 人 0%	10 人 25%	30 人 75%	0 人 0%	40 人	100%
自治会活動	大学祭	1 人 3%	5 人 13%	17 人 43%	17 人 43%	0 人 0%	40 人	85%
	スポーツ大会	1 人 3%	4 人 10%	14 人 35%	21 人 53%	0 人 0%	40 人	88%
	自治会活動全般	0 人 0%	2 人 5%	15 人 38%	23 人 58%	0 人 0%	40 人	95%
施設	図書館	0 人 0%	0 人 0%	7 人 18%	33 人 83%	0 人 0%	40 人	100%
	食堂	1 人 3%	4 人 10%	10 人 25%	25 人 63%	0 人 0%	40 人	88%
	保健室	0 人 0%	0 人 0%	8 人 20%	32 人 80%	0 人 0%	40 人	100%
	学生相談室	0 人 0%	1 人 3%	11 人 28%	28 人 70%	0 人 0%	40 人	98%
	施設や設備全般	1 人 3%	7 人 18%	13 人 33%	19 人 48%	0 人 0%	40 人	80%
総合	総合的に学生生活に満足していますか？	0 人 0%	2 人 5%	9 人 23%	29 人 73%	0 人 0%	40 人	95%

２）自己点検

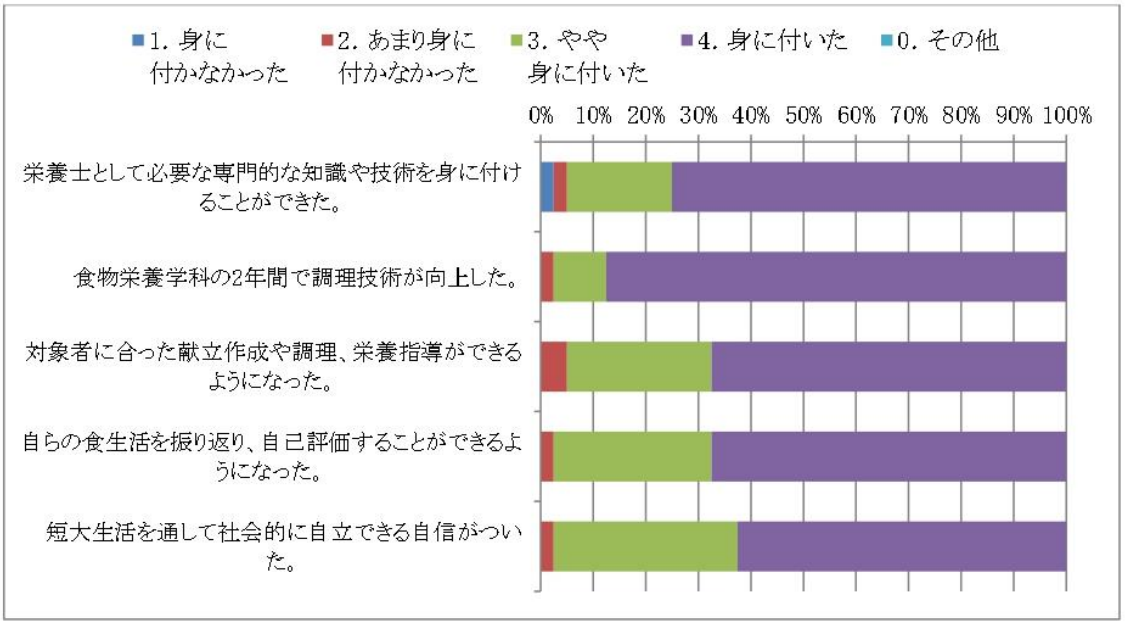
項目	1. 身に付かなかった	2. あまり身に付かなかった	3. やや身に付いた	4. 身に付いた	0. その他	0 人	満足度
栄養士として必要な専門的な知識や技術を身に付けることができた。	1 人 3%	1 人 3%	8 人 20%	30 人 75%	0 人 0%	40 人	95%
食物栄養学科の2年間で調理技術が向上した。	0 人 0%	1 人 3%	4 人 10%	35 人 88%	0 人 0%	40 人	98%
対象者に合った献立作成や調理、栄養指導ができるようになった。	0 人 0%	2 人 5%	11 人 28%	27 人 68%	0 人 0%	40 人	95%
自らの食生活を振り返り、自己評価することができるようになった。	0 人 0%	1 人 3%	12 人 30%	27 人 68%	0 人 0%	40 人	98%
短大生活を通して社会的に自立できる自信がついた。	0 人 0%	1 人 3%	14 人 35%	25 人 63%	0 人 0%	40 人	98%

3　グラフ

1）満足度調査


1. 不満
2. やや不満
3. やや満足
4. 満足
0. その他
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
カリキュラム（教育課程）
授業
食物栄養学科で行われている行事やボランティア活動
食物栄養学科で行った卒業研究
教員のサポート体制
チューターのサポート体制
職員のサポート体制
コロナ対応等に係るサポート体制
就職支援体制
資格取得支援体制
大学祭
スポーツ大会
自治会活動全般
図書館
食堂
保健室
学生相談室
施設や設備全般
総合的に学生生活に満足していますか？

２）自己点検



４　まとめ

１）満足度調査

（１）状況と課題

今回の調査は６領域，１８項目について行われた。

「教務」領域についての項目では，カリキュラム，授業，卒業研究についての４項目において，「満足」または「やや満足」を回答した者をあわせると１００％，学科の行事やボランティア活動については，９８％と高く評価されていた。

「学生生活」領域については，「満足」または「やや満足」と回答した者は，教員のサポート体制，チューターのサポート体制，職員のサポート体制はいずれも１００％が満足していた。コロナ対応に係るサポート体制の満足度８５％であり，「不満」または「やや不満」が１５％であった。

「キャリアアップ」領域の２項目については，「満足」または「やや満足」と回答した者は就職支援体制では９５％，資格取得体制は１００％であった。

「自治会活動」領域については，大学祭・スポーツ大会・自治会活動全般において，「満足」または「やや満足」と回答した者は８５％以上であった。

「施設」領域では，「満足」または「やや満足」と回答した者は，保健室は１００％・学生相談室が９８％，図書館が１００％で高評価であった。また，食堂は８８％，施設や設備全般は８０％であり，不満に感じている学生がいた。

総合的な満足度については，学科が設定している「満足」「やや満足」９０％以上の目標に対して，今回の調査結果では９５％であり，目標に達していた。

（２）要因分析

「教務」領域の授業については，昨年度に続き本学における新型コロナウイルス感染症の対策を行うことについての理解は得られており，５月以降は学内での対策は緩和されたこともあり，一部オンラインによる授業はあったものの，対面授業がほぼ予定どおりが実施されたことが高い満足度になった要因と考える。栄養士を始めとする資格を取得できる学科とし

て，学生の学びを考えた授業を各教員が実施したものと考える。

「学生生活」領域では，教員やチューター，さらには職員によるサポート体制は満足度が１００％であり，満足していた。食物栄養学科では「きめ細かな学生指導」を行っており，その成果が結果に反映されたものと思われる。その一方で，コロナ対応等に係るサポート体制については，陽性者となった場合に出席できず，欠席扱いとする対応に不満を感じていたと思われる。

「キャリアアップ」領域の満足度が高かった要因としては，キャリアセンターやチューターによる個別の進路支援に向けたサポート体制が十分効果を発揮し，各自が希望する進路が決定していたためと考えている。

「自治会活動」領域については，大学祭やスポーツ大会，自治会活動等が開催されたことにより満足度がいずれも８５％以上と評価されていた。自治会活動の運営を担当する学生もおり，積極的に参加し，楽しむ姿が多く見られ，学生生活を楽しんでいる様子がうかがえたことが，高い満足度に繋がったものと考える。

「施設」領域については，図書館，保健室，学生相談室は「満足」または「やや満足」をあわせて９８％以上が評価しており，学生のニーズに対応していたものと考えられる。一方で，施設や設備全般については，実験や実習で使用していた教室の施設環境や設備・備品の老朽化などにより，満足度がやや低く，講義室の机や椅子の不具合が考えられる。また，食堂は満足度８０％であり，今後はより良い食堂の運営が望まれていることがわかる。

総合的な満足度は９５％であり，学科が設定している「満足」「やや満足」９０％以上に対して目標を達成することができた。入学時からコロナ禍での２年間であったが，本学科における授業や様々な活動等を通して，学生自らが学生生活を充実させたいと努力しており，総合的に学生生活に満足していたものと考える。

（３）本年度の対策

教務においては，対面授業を充実させるとともに，学科の行事やボランティア活動，卒業研究発表会等がさらに充実するよう取り組む。

セミナー＆チューター制を活用して，引き続き学生に寄り添ったきめ細かい支援を行い，他部署と連携しながら，学業や学生生活，進路支援などを行い，満足度の向上に努めたい。

２）自己点検のまとめ

自己点検の５項目に関しては，「身に付いた」と「やや身に付いた」を合計して「身に付いた」とすると，すべての項目において「身に付いた」が９５～９８％であり，高い満足度であった。

２年次の授業や栄養士の校外実習などを通して，栄養士としての知識や技術を身に付け，１年次よりもさらに自分の成長を実感したものと思われる。特に，「社会的に自立できる自信がついた」が９８％であり，学生達の精神面においても成長が感じられる結果であった。

令和５年度 学生生活の満足度調査結果（保育学科）

１　調査回答者

２年次　４９名（調査対象：５１名　回答率：９６．１％）

２　調査結果

１）満足度調査

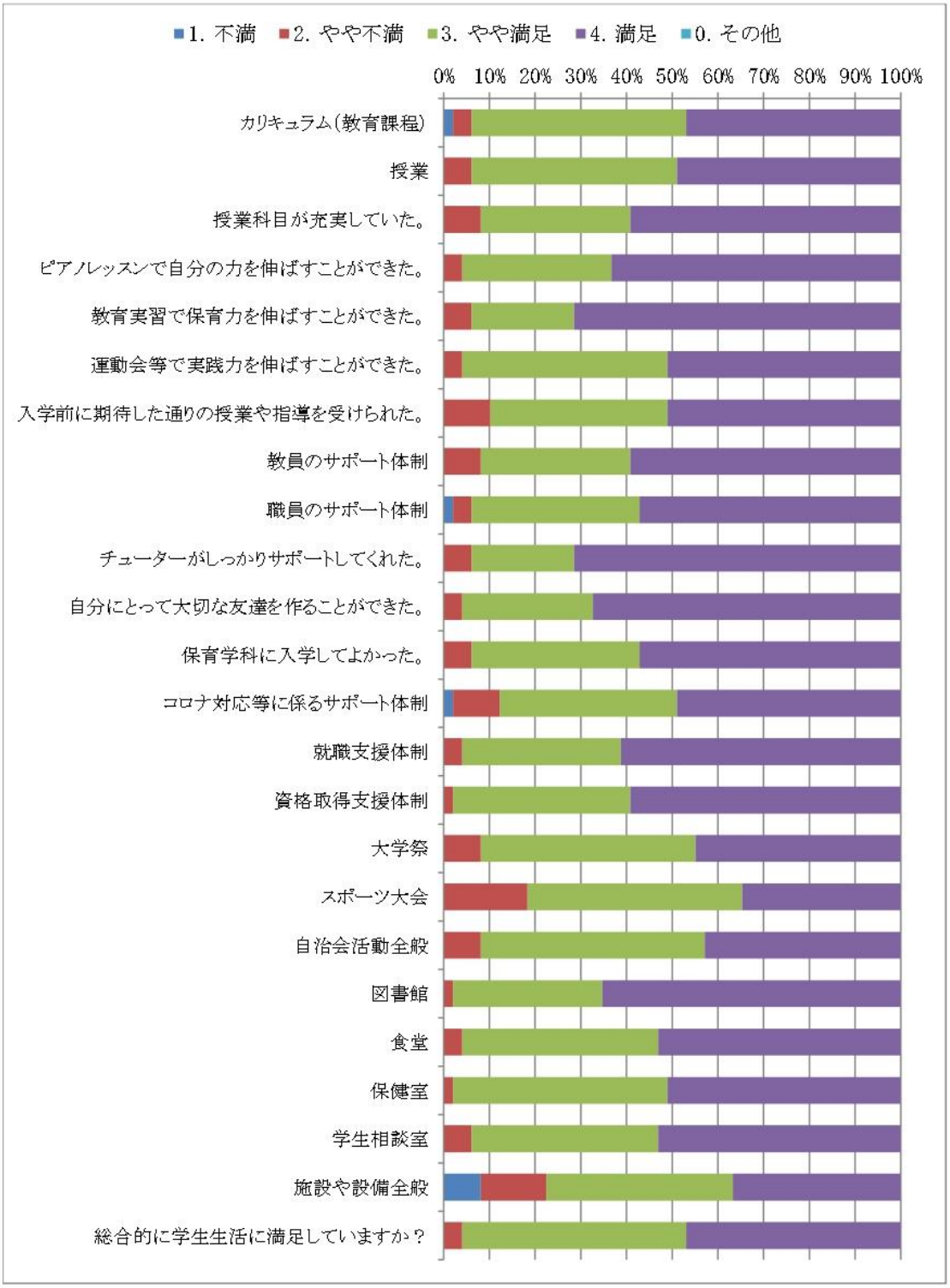
領域	項目	1. 不満	2. やや不満	3. やや満足	4. 満足	0. その他	計	満足度
教務	カリキュラム（教育課程）	1 人　2%	2 人　4%	23 人　47%	23 人　47%	0 人　0%	49 人	94%
	授業	0 人　0%	3 人　6%	22 人　45%	24 人　49%	0 人　0%	49 人	94%
	授業科目が充実していた。	0 人　0%	4 人　8%	16 人　33%	29 人　59%	0 人　0%	49 人	92%
	ピアノレッスンで自分の力を伸ばすことができた。	0 人　0%	2 人　4%	16 人　33%	31 人　63%	0 人　0%	49 人	96%
	教育実習で保育力を伸ばすことができた。	0 人　0%	3 人　6%	11 人　22%	35 人　71%	0 人　0%	49 人	94%
	運動会等で実践力を伸ばすことができた。	0 人　0%	2 人　4%	22 人　45%	25 人　51%	0 人　0%	49 人	96%
	入学前に期待した通りの授業や指導を受けられた。	0 人　0%	5 人　10%	19 人　39%	25 人　51%	0 人　0%	49 人	90%
学生生活	教員のサポート体制	0 人　0%	4 人　8%	16 人　33%	29 人　59%	0 人　0%	49 人	92%
	職員のサポート体制	1 人　2%	2 人　4%	18 人　37%	28 人　57%	0 人　0%	49 人	94%
	チューターがしっかりサポートしてくれた。	0 人　0%	3 人　6%	11 人　22%	35 人　71%	0 人　0%	49 人	94%
	自分にとって大切な友達を作ることができた。	0 人　0%	2 人　4%	14 人　29%	33 人　67%	0 人　0%	49 人	96%
	保育学科に入学してよかった。	0 人　0%	3 人　6%	18 人　37%	28 人　57%	0 人　0%	49 人	94%
	コロナ対応等に係るサポート体制	1 人　2%	5 人　10%	19 人　39%	24 人　49%	0 人　0%	49 人	88%
キャリアアップ	就職支援体制	0 人　0%	2 人　4%	17 人　35%	30 人　61%	0 人　0%	49 人	96%
	資格取得支援体制	0 人　0%	1 人　2%	19 人　39%	29 人　59%	0 人　0%	49 人	98%
自治会活動	大学祭	0 人　0%	4 人　8%	23 人　47%	22 人　45%	0 人　0%	49 人	92%
	スポーツ大会	0 人　0%	9 人　18%	23 人　47%	17 人　35%	0 人　0%	49 人	82%
	自治会活動全般	0 人　0%	4 人　8%	24 人　49%	21 人　43%	0 人　0%	49 人	92%
施設	図書館	0 人　0%	1 人　2%	16 人　33%	32 人　65%	0 人　0%	49 人	98%
	食堂	0 人　0%	2 人　4%	21 人　43%	26 人　53%	0 人　0%	49 人	96%
	保健室	0 人　0%	1 人　2%	23 人　47%	25 人　51%	0 人　0%	49 人	98%
	学生相談室	0 人　0%	3 人　6%	20 人　41%	26 人　53%	0 人　0%	49 人	94%
	施設や設備全般	4 人　8%	7 人　14%	20 人　41%	18 人　37%	0 人　0%	49 人	78%
総合	総合的に学生生活に満足していますか？	0 人　0%	2 人　4%	24 人　49%	23 人　47%	0 人　0%	49 人	96%

２）自己点検

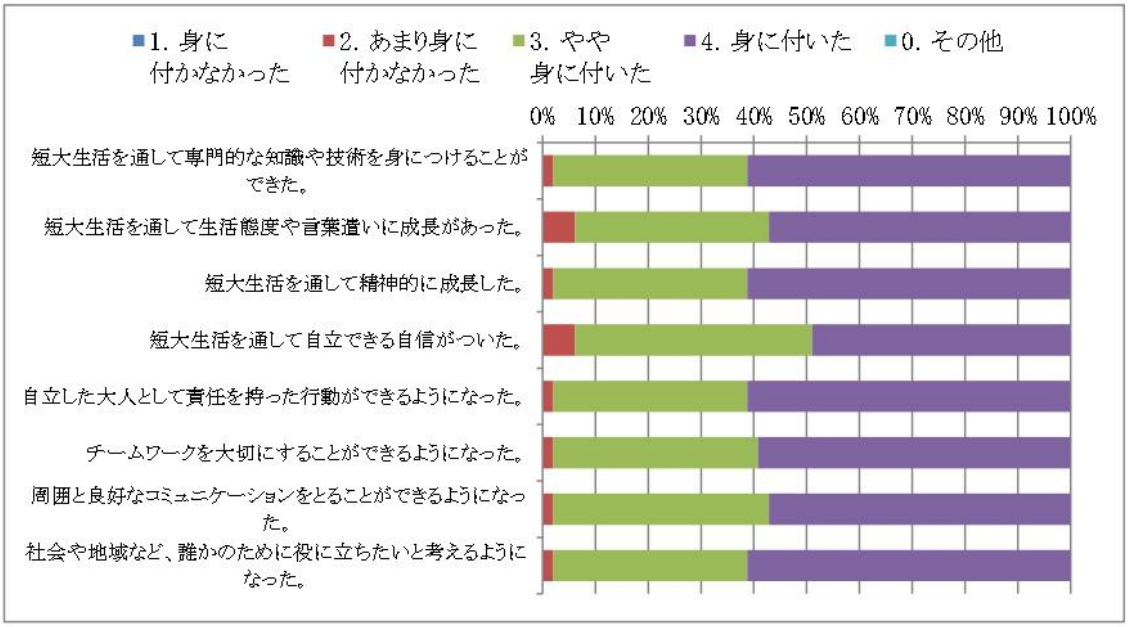
項目	1. 身に付かなかった	2. あまり身に付かなかった	3. やや身に付いた	4. 身に付いた	0. その他	計	満足度
短大生活を通して専門的な知識や技術を身につけることができた。	0 人 0%	1 人 2%	18 人 37%	30 人 61%	0 人 0%	49 人	98%
短大生活を通して生活態度や言葉遣いに成長があった。	0 人 0%	3 人 6%	18 人 37%	28 人 57%	0 人 0%	49 人	94%
短大生活を通して精神的に成長した。	0 人 0%	1 人 2%	18 人 37%	30 人 61%	0 人 0%	49 人	98%
短大生活を通して自立できる自信がついた。	0 人 0%	3 人 6%	22 人 45%	24 人 49%	0 人 0%	49 人	94%
自立した大人として責任を持った行動ができるようになった。	0 人 0%	1 人 2%	18 人 37%	30 人 61%	0 人 0%	49 人	98%
チームワークを大切にすることができるようになった。	0 人 0%	1 人 2%	19 人 39%	29 人 59%	0 人 0%	49 人	98%
周囲と良好なコミュニケーションをとることができるようになった。	0 人 0%	1 人 2%	20 人 41%	28 人 57%	0 人 0%	49 人	98%
社会や地域など、誰かのために役に立ちたいと考えるようになった。	0 人 0%	1 人 2%	20 人 41%	28 人 57%	0 人 0%	49 人	98%

3　グラフ

1）満足度調査


1. 不満
2. やや不満
3. やや満足
4. 満足
0. その他
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
カリキュラム(教育課程)
授業
授業科目が充実していた。
ピアノレッスンで自分の力を伸ばすことができた。
教育実習で保育力を伸ばすことができた。
運動会等で実践力を伸ばすことができた。
入学前に期待した通りの授業や指導を受けられた。
教員のサポート体制
職員のサポート体制
チューターがしっかりサポートしてくれた。
自分にとって大切な友達を作ることができた。
保育学科に入学してよかった。
コロナ対応等に係るサポート体制
就職支援体制
資格取得支援体制
大学祭
スポーツ大会
自治会活動全般
図書館
食堂
保健室
学生相談室
施設や設備全般
総合的に学生生活に満足していますか？

２）自己点検



４　まとめ

１）満足度調査

（１）状況と課題

①　「教務」領域

“満足群”を表す「3. やや満足」と「4. 満足」の占める割合は全体に高く，特に本学科が指導の特色としているピアノレッスンでは,「ピアノレッスンで自分の力を伸ばすことができた」は９６％と非常に高くなっている。また,「運動会や生活発表会で実践力を伸ばすことができた」についても９６％と大変高い満足度となった。一方,「入学前に期待した通りの授業や指導を受けられた」については９０％と項目の中では最も低くはあるが，概ね“やや満足群”“満足群”の割合が高い結果となっている。

②　「学生生活」領域

「教員のサポート体制」「職員のサポート体制」「チューターのサポート体制」の満足度はいずれも９０％を超える結果であった。また,「保育学科に入学してよかった」については，前年度に比べ１ポイント低下したのみであり，前年度同様に高いものであった。

③「キャリアアップ」領域

「就職支援」については９６％,「資格取得支援」については９８％の非常に高い満足度となっており総じて，キャリア支援の取組に満足している様子がうかがえる。

④「自治会活動」領域

「大学祭」,「スポーツ大会」,「自治会活動」のいずれも項目においても，前年度を大きく上回る満足度となった。

⑤「施設」領域

「図書館」「保健室」「学生相談室」については９０％以上の高い満足度であった。一方,「施設や設備全般」については，“不満足群”の割合が２２％であった。

（２）要因分析

各領域の特徴的な事項について分析を行い，対策に反映させる。

「教務」の領域で「ピアノレッスンで自分の力を伸ばすことができた」が９６％と高い満足度となったのは,「初心者のピアノ指導の充実」が学科の指導を強く特色付けるものであり，常勤・非常勤の講師陣の指導力の高さを反映している。また,「運動会や生活発表会で実践力を伸ばすことができた」についても９６％と大変高い満足度となった。このことは，学生の主体性に軸を置く「アクティブラーニング型の授業」「より現場での実践力に即した体験型の授業」が幅広く浸透し，その経験を通して自身の成長を実感することができたことがうかがえる。「入学前に期待した通りの授業や指導を受けられた」については，概ね満足度を感じている割合は多いが，不満足群に属した学生の思いを把握し対応するためにも,「どのような期待感をもって入学してくるのか」の詳細な把握とその分析と対策が必要である。

「学生生活」の領域では,「教員のサポート体制」「職員のサポート体制」「チューターのサポート体制」の満足度はいずれも９０％を超える結果であり，学生個別へのきめ細やかな対応と支援が効果を得ていることが言える。

「キャリアアップ」の領域では，保育士・幼稚園教諭養成課程における，就職に向けた取組や支援に満足している様子がうかがえる。

「施設」の領域では，施設や設備全般について“不満足群”が２２％と比較的多いが，施設の老朽化等が影響しているものと思われる。

（３）本年度の対策

・学科の指導の強みである「ピアノレッスン」は非常勤講師と連携し，引き続き高い指導力の維持に努める。
・授業や行事の区切りのよいところで，学生が学修の成果を実感できる方法を一層工夫する。
・体験型重視の活動を取り入れ，個々の長所を生かしそれが発揮できることによって，自己肯定感がえられるよう活動内容の工夫を行う。
・学科全体の学年行事等においては，横のつながりのみならず，縦のつながりを意識し，第２学年の学生には学科のリーダーとしての資質を身に付けるべく経験を積み重ねることができるよう取り組む。また，学生主体の活動となるよう学生の参画意識を高め，学科の一体感，充実感や成長実感が得られるように創意工夫する。
・学生の生育環境，経済状況，課題の有無等，一人一人の学生の状況を定格に把握し，学業に専念し学生生活が充実したものになるよう学科全体で情報共有し，取組を一本化する。

（２）自己点検のまとめ

概ね多くの項目において肯定的評価が９０％を超える高い評価結果となった。また，最終学年を迎え,「短大生活を通して精神的に成長した」については９８％,「自立した大人通しての責任を持った行動ができるようになった」についても９８％,「チームワークを大切にすることができるようになった」「周囲と良好なコミュニケーションをとることができるようになった」「社会や地域など，誰かのために役に立ちたいと考えるようになった」がいずれも９８％と極めて高い満足度を示していることは，学生から社会人としての認識を育て，社会に役立つ人材の育成のため，精神的な成熟を意識した学科の取組の成果であることが言える。